

# S+HISHO！ 北海道大学医学部図書館における 「がんばらない」秘書向け講習会の取り組み

川村路代

北海道大学附属図書館

## 1. 背景と目的

本学医学部では文献の入手業務を教員に代わり秘書が担うケースがほとんどである。秘書の多くは文献検索や図書館利用の経験が少なく、学外への ILL 申込の 2 割弱は学内で電子ジャーナルや製本雑誌が利用可能であった。そこで医学部図書館では平成 25 年 8 月より、秘書のスキルアップとそれによる教員の文献入手の迅速化、そして図書館職員の ILL 業務低減を狙いとして「秘書さんのための文献探索出張講習会」を実施した。

## 2. 内容・実施方法

講習会の内容は教員から依頼された文献を入手する手法に絞った。すなわち

(1)PubMed・医中誌 Web を用いた文献検索 (2)リンクリゾルバを利用した論文 PDF の入手 (3)図書館所蔵雑誌の検索・利用 (4)文献複写申込である。

秘書が受講したいと思ったときに無理なく参加できるよう、申込に応じて職員が研究室に出向く少人数での実習形式をとった(図書館事務室での受講も可)。申込時にアンケートをとり、個人のスキル・経験に寄り添った説明を準備・検討した。広報は全研究室にチラシをポスティングしたほか、ILL 申込の多い秘書へ個別に案内した。

## 3. 実施結果と考察

平成 25 年の開始以来計 16 回 23 名の参加があった。事後アンケートでは「とても役に立つ」という回答が 100%であり、「丁寧に教えてもらえてよかった」という感想が聞かれた。講習会前は学内 ILL、オンライン文献複写申込、北大 Full Text Navi(リンクリゾルバ)の認知度が低かったが、解説すると便利さを理解したようであった。今回の講習会を契機に秘書全員が文献探索の方法を学ぶことにした研究室もあるなど、参加者からの反応はおおむね良好であった。

職員にとっても、申込ごとに少人数の講習会を開催する方式は大規模教室の確保が不要であり、集客の不安もなく、平常業務の合間に労力をかけず実施できる利点があると思われる。また講習会後に秘書と職員間で業務の相談がしやすくなり、秘書が担う図書業務のトータルサポートにつながるという望外のメリットもあった。ほとんどの秘書の任期は数年以内のため、新任担当者のスキル獲得のニーズは常にあることから、講習会は継続して実施することが望ましいと考える。

一方で当初の目標であった秘書のスキルアップ、教員の文献入手の迅速化、図書館職員の ILL 業務低減については、講習会受講後も依然として学外依頼が不要な ILL 申込の多い秘書がおり、現在のところ目標が完全に達成されたとは言いがたい。再教育も視野に入れた原因の分析と対応策が課題である。